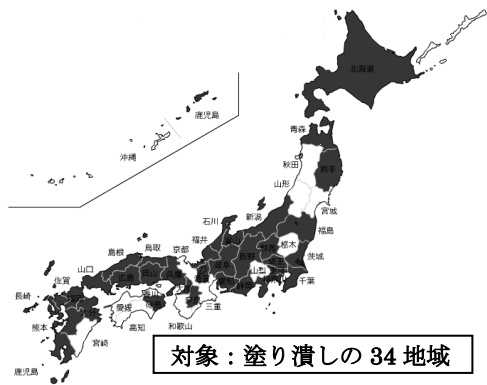


地域の住宅リフォーム推進に関する地域住宅リフォーム推進協議会の効率的な運営・広報等を行うための連携・タイアップ事業に関する実態調査 報告書 <概要版>

1. 調査概要

1) 目的および調査方法

全国各地で実施されているすべての地域住宅リフォーム推進協議会（一部、設置準備中）の近年（H. 25、H. 26）に実施した活動において、主に下記調査項目の活動で、他団体と連携・タイアップすることにより効率的に事業を運営・広報し、成功している事業事例を収集し取りまとめることを目的とする。なお、取りまとめた結果を各地域協へフィードバックすることにより、各地での今後の事業展開の参考に資するものとする。調査は、全国の地域住宅リフォーム推進協議会及び設立準備中の団体（34団体）を対象に、電子メール（エクセル）による調査協力依頼を行った。



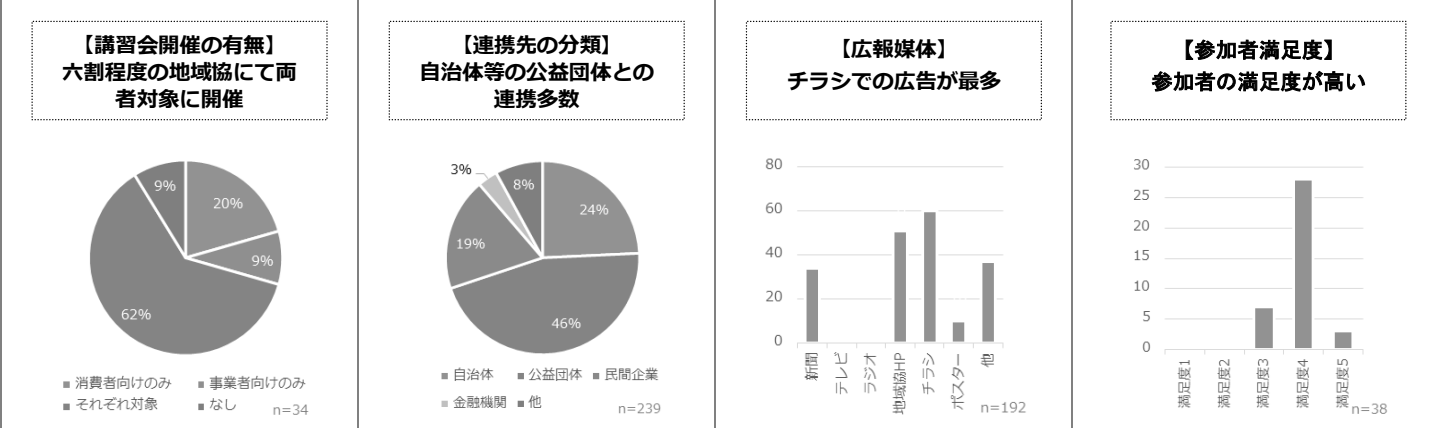
■調査期間：平成26年 10月14日（火）～12月19日（金）

2) 調査項目

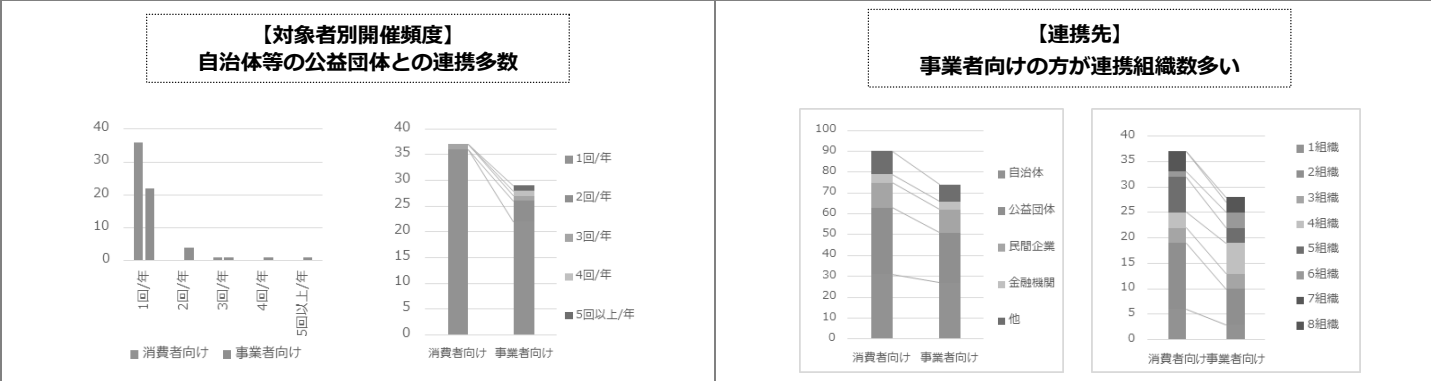
主として講習会や相談会に関する催し物、および住宅リフォームに関する各種制度の運営に関する連携等について、4つのカテゴリー【催し物（講習会・相談会）】、【住宅リフォームに関する情報提供】、【住宅リフォームに関する各種制度の運営】、【その他の連携】で構成されている。

2. 連携・タイアップ事業に関する分析

1) 単純集計（講習会）



2) クロス集計（講習会）



3) 自由記述（講習会）

■連携先選定の理由

【広報・集客】

- ・市町村等の自治体は県下全域に配置されており集客力が高い
- ・協議会の構成団体であり、広報や受講者募集などの面で多方面に協力を期待できる

【信頼性確保】

- ・県・市等の公共団体は、一般県民の信頼度が高い
- ・県民が安全で安心して適切な住宅リフォームを行えるよう環境整備を図ることができる

【親交・馴染み】

- ・元々関係が深く、リフォーム事業に限らず様々な協力を得られる

■住宅リフォーム推進協議会への要望・意見について

- ・現在の地域住宅リフォーム推進事業助成によって県内における当協議会活動は、大変助かっている。今後もリフォーム推進事業助成を継続して、地域の住宅リフォーム推進協議会活動を支援していただきたい。各協議会単独では活動もままならない。
- ・他県での運営方法や新しい試みや事業企画などをお聞きし、参考にしたい。

3. ヒアリング調査

(1) 構成団体について

【構成団体内の情報共有方法】

構成団体から広く意見を収集するために、年に数回の会合（幹事会）を開催し、各取り組みについて最新の情報が共有できるように配慮をしている。（地域協議会 B）

【構成団体の勧誘方法】

構成団体は、市町村のみならず一般企業、大学等の教育機関や金融機関等様々である。会員の収集方法は、実際に団体へと訪問をし、会長等と話をした上でご入会をお願いする形である。構成団体の各種イベントにも積極的にアプローチを行い、講師を派遣し情報提供の機会を拡張している。これを契機に構成団体主催のイベントに参加していた企業からの講習会の依頼もあった。また、新設団体等の情報を得れば同様に訪問をし、積極的に会員への勧誘を行っている。（地域協議会 C）

資料編 実態調査の整理

各地域協議会の実態調査内容（概要）

34の地域協議会の実態調査票（エクセル）を整理

（体裁：見開き）

- ・講習会の参加人数
- ・満足度（企画者側、参加者側）
- ・開催頻度（時間）
- ・講師数
- ・費用負担
- ・自由記述 など収録

活動の早見表

実態調査結果

講習会の様子